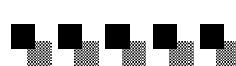


PCP-10



工事説明書



このたびは放火監視受信盤（PCP-10）をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
この工事説明書は本製品を安全に正しく設置工事して戴くために基本的な取扱方法や手順、注意事項などを説明しています。
この工事説明書を最後までよくお読みになり、内容を十分に理解して戴いた上で工事をおこなってください。

目 次

1	工事をされる方に・・・・・・・・・・	1
2	壁への本体取り付け方法・・・・・・・・	2
3	接 続 図・・・・・・・・・・	3
4	差し込み端子の取扱方法・・・・・・・・	4
5	ヒューズについて・・・・・・・・・・	4
6	設定スイッチについて・・・・・・・・・・	5
7	電源の入れ方、切り方・・・・・・・・・・	6
8	地区窓の取扱方法・・・・・・・・・・	6
9	絶縁抵抗試験時の注意・・・・・・・・・・	7
10	仕 様・・・・・・・・・・	8

工事店様へ 設置終了後、本書を必ずお客様へお渡しくださいますよう、お願いいたします。

工事説明書は取扱説明書と一緒にいつもお手元におき、紛失なさらないようご注意ください。また取扱説明書もあわせてお読みください。

1. 工事をされる方に

安全に工事をして戴き損害を未然に防止するために、この工事説明書にはいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合及び、機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される場合を表します。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合及び、機能の一部に重大な悪影響を及ぼすことが想定される場合を表します。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うことが想定される場合及び、機能に悪影響を及ぼすことが想定される場合、及び物的損害の発生が想定される場合を表します。



「必ずおこなう」を表します。



「禁止」を表します。

1. 工事をされる方に(つづき)

警告



・本設備はこの工事説明書に従って、正しく取り付けてください。
誤った取り付けは、事故や、機能障害の原因になります。



・ぬれた手で製品の内部に触れないでください。感電の恐れがあります。

注意



・次のような場所に設置すると故障や誤動作の原因となりますので設置しないでください。
また、**運搬中、工事期間中**でも、この様な環境にならない様ご注意ください。故障や誤動作の原因になります。

- 温度が上昇するところ
- 塵埃、鉄分の多いところ
- 直射日光が当たるところ
- 薬品等のガスが発生するところ
- 水、湯気、霜が付着するところ
- 強電界やノイズの発生するところ



・本製品は屋外型ではありません。やむを得ず外気にさらされる恐れがある場所に設置する場合は保護ボックスに収納する等十分な対策をして設置してください。



・受信盤は、その重量に十分耐えるようにしっかりと取り付けてください。但しあまりネジを締め過ぎると筐体を変形、破損させることがありますので気を付けてください。



・操作スイッチの高さが0.8m～1.5mとなる位置になるように取り付けてください。

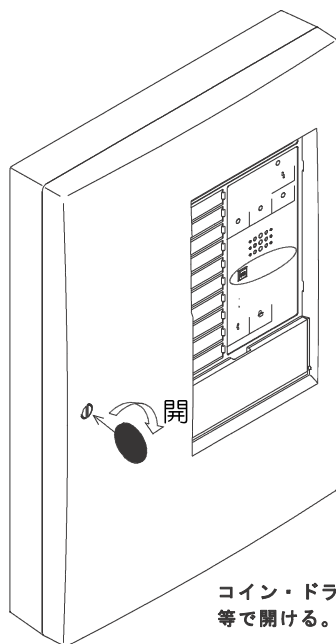
2. 壁への本体取り付け方法

注意

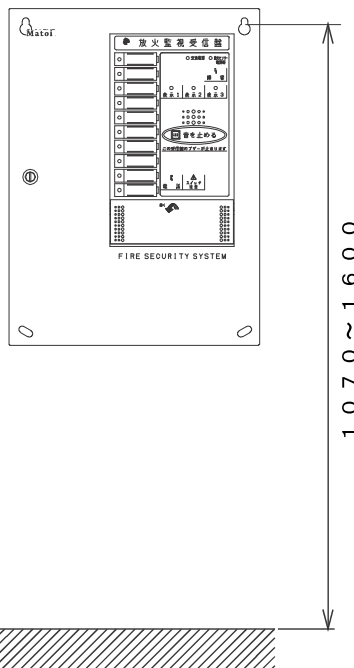


・取り付け時等に発生した切り屑が回路部（コネクタや基板上）に入り込まないように十分注意してください。
故障の原因となります。

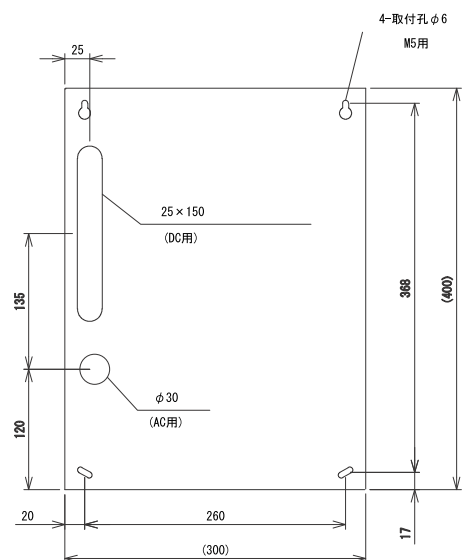
①扉止め金具を1/4回転右に回すと扉は開きます。



②操作スイッチの高さが床面から0.8m～1.5mの範囲になるよう取り付けてください。



③アンカーボルト(M5)または同等品にて壁面に取り付けてください。
受信盤と壁面が必ず平行になるように平座金(JIS B 1256)等をはさみ、調整し取り付けてください。



3. 接続図

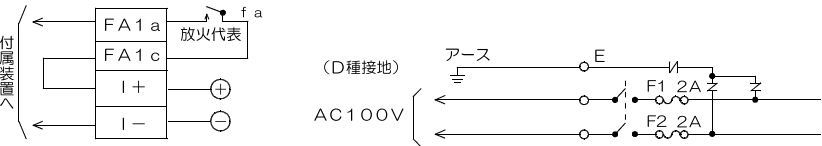
警告

各端子への配線は所定の定格容量、極性に従い正しくおこなってください。誤った場合、故障、発火の原因となります。

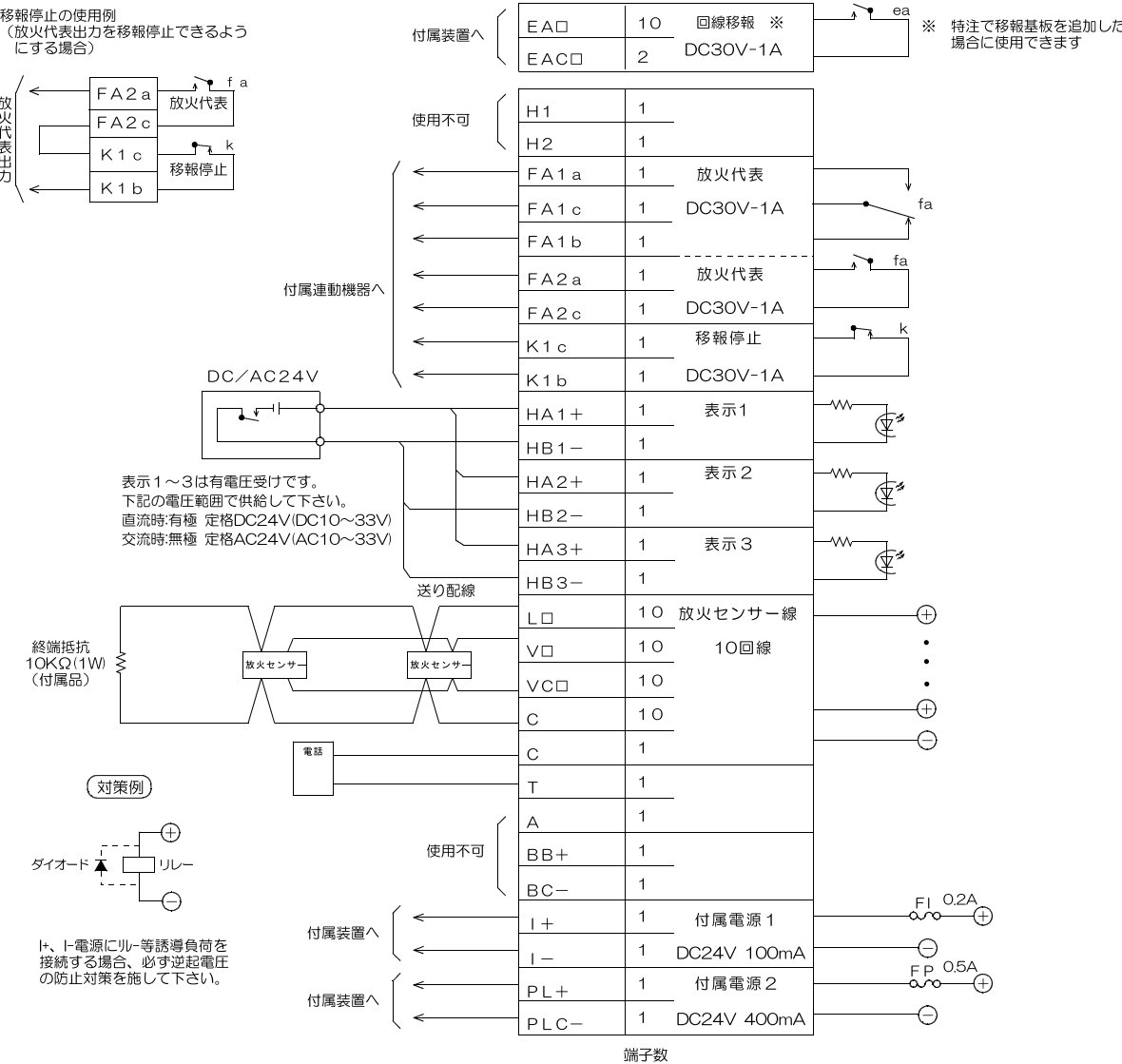
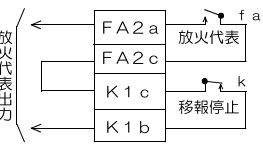
注意

- 他設備からの誘導ノイズ等を受けないよう交流電源供給経路に注意してください。
- 交流電源はAC100V専用で交流電源端子間及びアース端子間にはサージ吸収素子が実装されています。
- 接続前に入力電圧の確認をしてください。
また、電源設備の絶縁試験時には本機器の電源スイッチを切ってください。
- AC100V端子の保護カバーは工事終了後、必ず取り付けてください。感電の恐れがあります。
- アースは必ず取り付けてください。使用時や漏電の時に感電する恐れや正規の性能が得られない場合があります。
- I+、I-電源にリレー等誘導負荷を接続する場合は、必ずノイズ対策を施してください。故障の原因となります。
- 放火センサーの終端抵抗は付属品（10KΩ 1W）を使用してください。
- 施工時のゴミ等は機器の中に残さないでください。ショートや事故の原因となります。

付属装置接続例
(発報時、付属装置に電源を供給する場合)



移報停止の使用例
(放火代表出力を移報停止できるようにする場合)



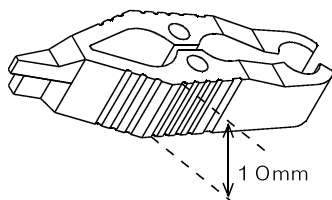
4. 差し込み端子の取扱方法

⚠注意

- ❗ 適合電線範囲は0.8～1.6φ単線です。これ以外の電線は使用できません。
- ❗ より線の電線は差し込めません。棒型圧着ラグ端子をつけて使用してください。
- ❗ 電線の被覆は10mmにむいてください。指定長不足や差し込み不足は接触不良の原因になります。

1) 電線の差し込み方

①電線の被覆を長さ10mmにむいてください。

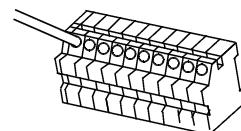


付属のヒューズ抜き、または
本体左上のストリップゲージを
ご利用下さい。

②電線を端子の孔へ被覆をむいた
部分がみえなくなるまで差し込
んでください。
入れにくい場合は、右図の様に
ドライバーまたはヒューズ抜き
の後ろで、端子上部のレバーを
押しながら入れてください。

③電線が確実に入ってるか、
引いて抜けないかどうか
確認してください。

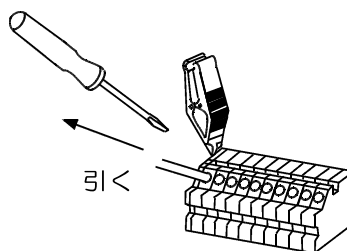
引く



2) 電線の外し方

電線を軽く引っ張りながらヒューズ抜きで上部の
レバーを押して引き抜いてください。

※1 必要以上にレバーを押すと端子台内部のバネ
が延びてしまい接触不良の原因になるので注
意してください。



引く

マイナスドライバー

ヒューズ抜き

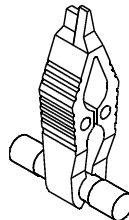
5. ヒューズについて

⚠注意

- ❗ ヒューズが切れたときは必ず電源を切った状態で交換してください。感電や製品破損の恐れがあります。
- ❗ ヒューズ交換時はドライバー等を使わず、付属のヒューズ抜きを使用してください。
基板破損の原因になります。

1) ヒューズの交換方法

交換の際は必ず容量を確認してからおこなってください。
異なる容量のヒューズを取り付けると機器の故障、誤動作
の原因となります。
付属のヒューズ抜きでヒューズをはさんで交換してください。
F1、F2ヒューズはAC100V用です。交換後は必ず
ヒューズカバーを付けてください。



2) ヒューズの用途と容量について

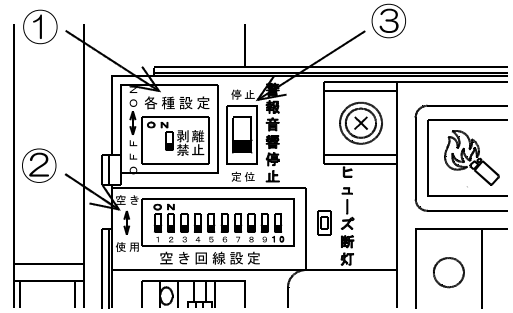
F1, F2 : AV100V用 2A (赤)
FC : AC 19V用 2A (赤)
F1 : 付属電源1 (I+, I-) 24V用 0.2A (黄緑)
FP : 付属電源2 (PL, PLC) 24V用 0.5A (白)
FS1, FS2 : 放火センサー用電源 (V□, VC□) 24V用 1A (ピンク)

予備ヒューズは各容量3本ずつ付属しています。

6. 設定スイッチについて

本製品は設置する建物の使用状況により下記の機能が選択できます。
扉を開け右図の基板上的のスイッチにより設定がおこなえます。

- ①「各種設定」スイッチ(DSW1)
- ②空き回線設定（未使用回線の処理）（DSW2）
- ③警報音響停止（諸警報、障害音の完全停止）（SW11） ※通常は定位



6-①. 「各種設定」スイッチについて

⚠ 注意



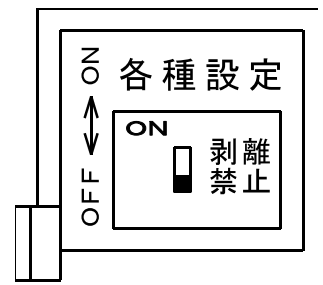
各種設定スイッチの変更は、**電源投入時のみ有効となりますので受信盤の電源を一旦切ってください。**
DSW1 に貼られている銘板は剥がさないでください。
機器が正常に動作しなくなる原因となる場合があります。

DSW1の機能

諸表示音響 あり／なし設定

ON側 : 表示信号入力時、警報音が鳴りません。

OFF側 : 表示信号入力時、警報音が鳴ります。（出荷時はOFF側に設定されています）



6-②. 「空き回線設定」スイッチについて

⚠ 注意



使用回線は必ず使用（ON）側に設定してください。空き（ON）側に設定しておくと、放火センサー線が断線した際に警報が出ません。



工場出荷時は、全て使用（OFF）の位置になっています。

空き回線（使用しない回線）がある場合には、空き回線と同じ番号のスイッチを空き（ON）側に設定します。

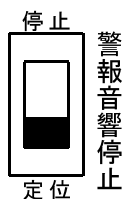
回線番号

6-③. 「警報音響停止」スイッチについて

⚠ 注意



保守点検以外では停止（ON）側にしないでください。このスイッチを停止（ON）側にすると、各種障害音響、諸表示音響が鳴動しないため、**障害発生や諸表示入力の発見が遅れる危険があります。**
（諸表示音響なしで平常運用する場合には6-①. No. 2（諸表示音響設定）によりおこなってください。）



工場出荷時は定位に設定されています。

このスイッチを停止側に設定すると各種障害音響、諸表示音響は鳴動しません。同時に盤面のスイッチ注意灯が点滅します。

尚、本スイッチは盤内にありますので、停止操作後は忘れずに定位に戻しておくよう注意してください。

7. 電源の入れ方、切り方



危険



・電源スイッチの端子部には触れないでください。感電する恐れがあります。

(1) 電源の入れ方

電源スイッチ (SW1) をONにします。

電源投入時のスイッチ自動設定について

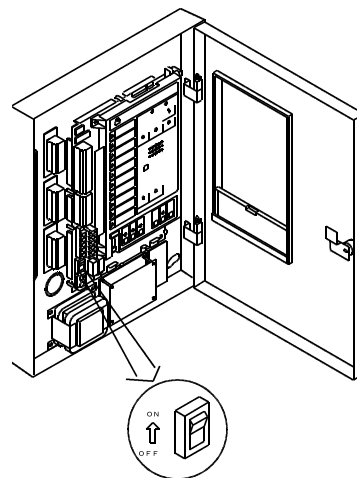
安全の為電源投入時は、下記のスイッチが自動的に停止状態になります。

配線・状況等を確認した後、停止を解除してください。

- ・放火警報音停止 (放火警報音停止スイッチ操作で解除できます)
- ・移報停止 (移報停止スイッチ操作で解除できます)

(2) 電源の切り方

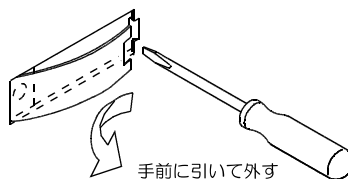
電源スイッチをOFFにします。



8. 地区窓の取扱方法

1) 地区窓の取り外し方

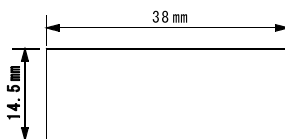
地区窓の右側の溝に爪や細目のマイナスドライバ等を引っ掛け
手前に引いてから、右方向に抜き取る様に取り外してください。



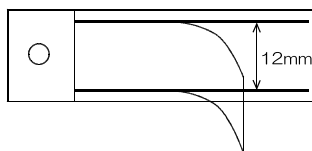
2) 地区名称表示の仕方

名称記入用紙を下記のサイズに切り取り監視回線の地区名称を記入します。

本説明書の最後のページに名称記入用紙として使用できる部分がありますのでコピーしてご使用ください。

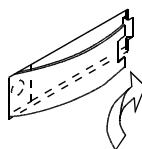


※またラベルライター等を使用する場合には
地区窓に12mm幅のガイドのラインが入っ
ていますので貼付の際目安にしてください。



3) 地区窓の取付け方

まず地区窓の左側の溝に差し込み、次に右の溝に差し込んでください。



9. 絶縁抵抗試験時の注意

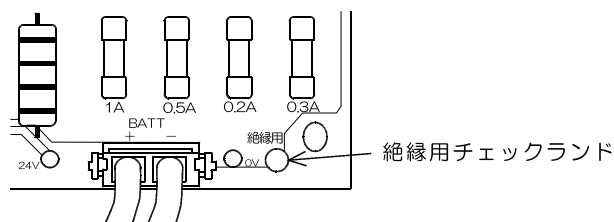


注意

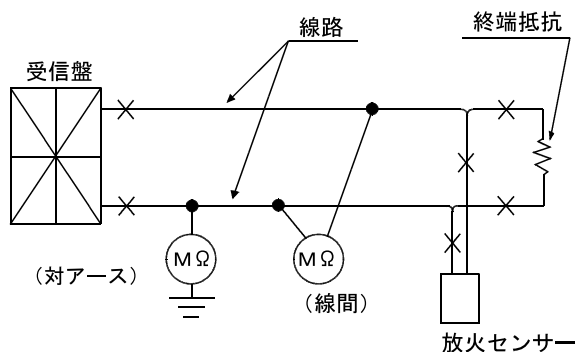


250Vを超える絶縁試験は避けてください。機器を破壊する恐れがあります。

- ① 本受信盤はマイクロプロセッサをはじめ数多くの電子部品から構成されています。絶縁試験はできる限り避けてください。
やむを得ず試験をおこなう場合は次の手順で試験をおこなってください。
 - (1) 1次、2次とも外線を外す
 - (2) テスター等で事前の絶縁確認をする
 - (3) 1次側は電源入力端子とアース端子間で試験する
 - (4) 2次側は外線端子のCとVC1を短絡した後（C1とVC1以外の全ての外線を外す）、内部の基板上（パネルが実装されている基板）の「絶縁用」チェックランドとアース端子間で試験する



- ② 外部配線相互間の絶縁試験をおこなう場合は、放火センサー、終端抵抗をはずし、テスターで抵抗値（下図の $M\Omega$ 印2ヶ所）確認してから実施してください。
いきなり絶縁試験をおこなうと、万一絶縁抵抗が低下していた場合、周辺機器を破壊する恐れがあります。



10. 仕様

商 品 記 号		PCP-10
回 路 方 式		RFA-A24A式
種 別		放火監視機器・放火監視受信装置
型 式 番 号		品評放第30～1号
主 電 源		AC100V 50/60Hz
定 格 容 量		160VA
回 路 電 圧		放火センサー回路電圧 DC24V
機 器 接 続 個 数 及 び 出 力 容 量	接 続 対 象 放 火 セ ン サ ー	接続対象放火センサー：UVS-06CN 最大接続数 10個/1回線 同時最大鳴動数 13個/5回線 (14個以上の鳴動はヒューズが溶断することがあります) 放火センサーが最大接続(50個/5回線)された場合、 5回線毎(V1～V5、V6～V10)に鳴動できる最大数です。
	付 属 電 源 1	DC24V 100mA (脈流)
	付 属 電 源 2	DC24V 400mA (脈流)
主 音 響		ブザー DC24V 25mA
外 部 移 報	放 火 代 表	無電圧a接点 1点, DC30V-1A
		無電圧c接点 1点, DC30V-1A
	移 報 停 止	無電圧b接点 1点, DC30V-1A
	回 線 移 報*	無電圧a接点 10点, DC30V-1A
表 示 入 力		3点(有電圧入力)
外 部 配 線 抵 抗		放火センサー線(L口)-(C) 50Ω以下
終 端 抵 抗		10kΩ 1W以上
使 用 温 度 範 囲		0℃～40℃(結露しないこと)
保 存 温 度 範 囲		-10℃～50℃
外 形 寸 法		W300×H400×D70 (mm)
質 量		約5kg
材 質		SPCC 板厚0.8mm(扉) 1.6mm(背板)
色 彩		マンセル値 2.5Y9/1(半ツヤ) 近似色
付 属 品		取扱説明書、工事説明書、終端抵抗(10本)、ヒューズ抜き
予 備 品		ヒューズ 各3本

*特注で移報基板を追加した場合に使用できる機能です。(盤の外形が変わります)
標準では使用できません。本機器への接続端末機器については、販売店にご用命ください。

株式会社 日本防犯システム
〒105-5111 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービルディング南館11階
TEL.03-5860-1927 FAX.03-5860-1928

※ 地区窓の原寸大に近いサイズとなっています。名称記入用紙としてコピーしてご利用ください。

※ 本体ブザー(警報音)の一覧です。コピーして盤に貼る等、ご利用ください。

放 火 警 報 時 : ピー
障害及び諸表示警報時 : ピーピー
電 話 呼 び 出 し 時 : ピピピピ